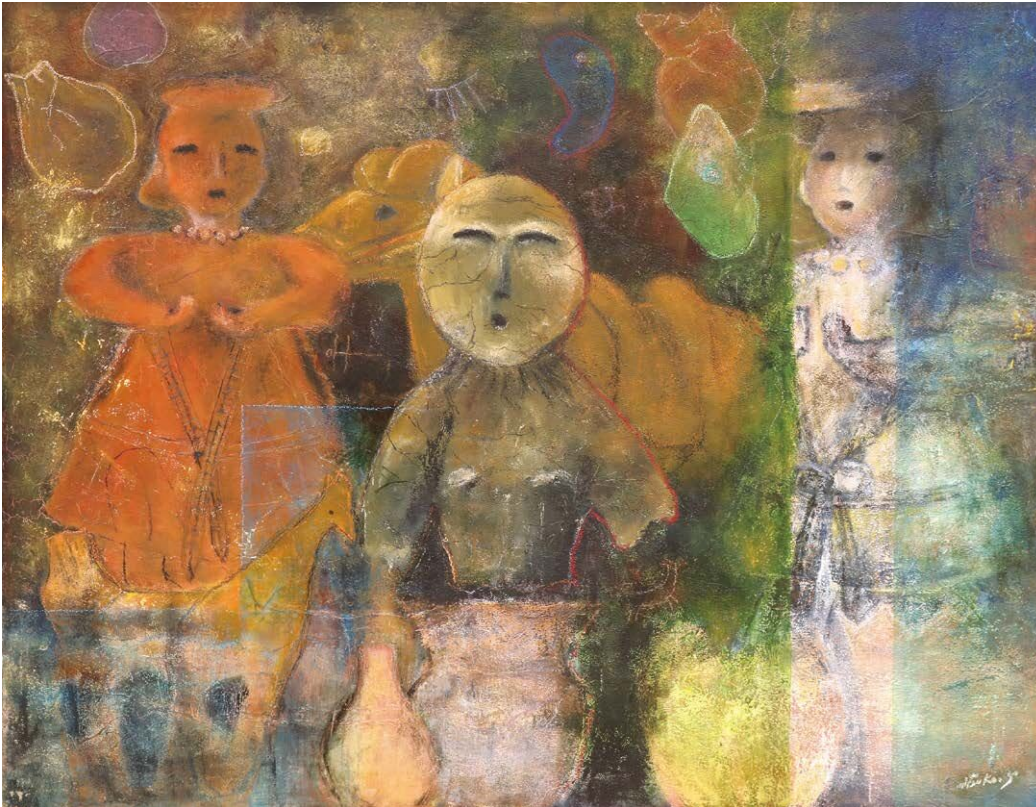


【 絵 画 】



一席
＜市制20周年記念賞＞

工房にて－夢中－
中瀬友之



二席

太古の響き
湯浅光子



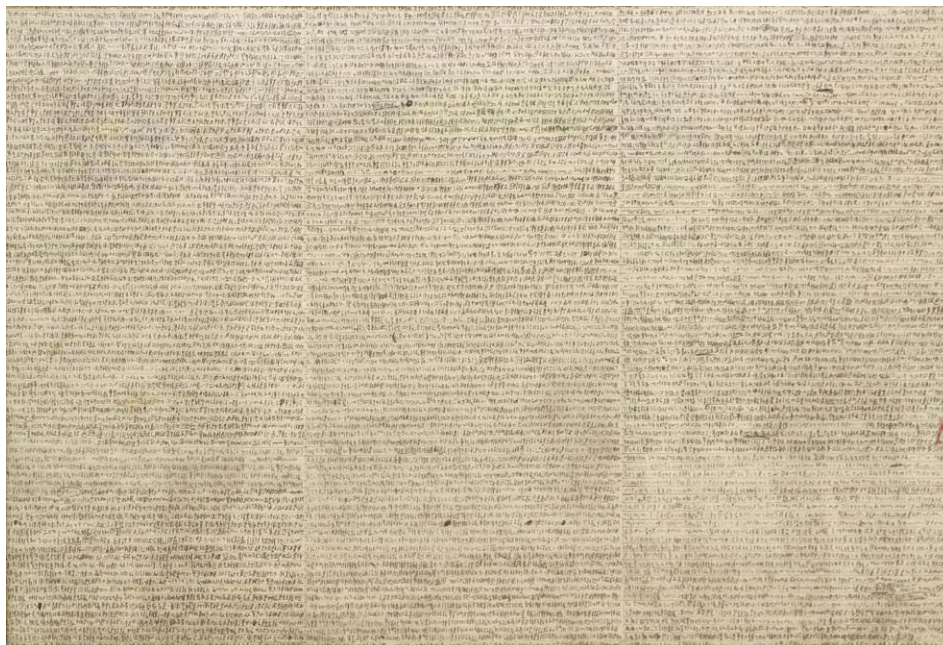
三席

初日の出と富士山と海
神廣美佐紀



岡田文化財団賞

霜晨
津島弘子



松本紙店 ギャラリー
MOS 賞

NOTES-4
村林丞海



松阪美術協会賞

お遊びの後で
西尾重利



まつさか未来賞

Omi-Ju
道明大翔

[賞]

入選

稻穗

- 5 -

[賞]	[題 名]	[名 前]
入 選	キツネ？ 散歩の途中で	青木恵子
入 選	天	杉山雅子
入 選	蔦絡む	出口量造
入 選	慈光	吹戸信子
入 選	父ちゃんトンボ捕って！	織田裕司
入 選	秋水	石川 勝
入 選	千吉 見つめる！	平尾久子
入 選	めぐり逢い	西口かおり
入 選	いつかどこかで	西村尚代
入 選	花低	西村香澄
入 選	迷宮	小松勇治
入 選	光のパレット	山口太一
入 選	犬が好きやで	南条尚子
入 選	おぼけのせかい	高橋 歩
入 選	だいすきなとり	池山幸子
入 選	BMW	鎌田祐哉
入 選	カイゾクバイク	長崎啓介
入 選	たこ焼き	辻野克弥
入 選	いえがいっぱい	北村レイ
入 選	でん車	和田圭将
入 選	すいぞくかん	小川奈及
入 選	紫艶香風	田中孝子
入 選	朽ちる	前川捷次
入 選	枯れ芒	向井三津子
入 選	菩提寺	奥田正治
入 選	薫風	森田政行
入 選	Gekkou	北村律子
入 選	静けさ	谷口まゆみ
入 選	光る海と海鳥達（伊根港）	松本典一
入 選	思い出	藤原克己
入 選	花を求めて	田川芙美子
入 選	うさぎ	伊藤君代
入 選	イロ・イロ・ハッピー	西村真理子
入 選	未だ霧の中	松本郁代
入 選	猛暑 2025	高崎晴子
入 選	しあわせ眼福	竹本博志
招 待	棲	森 鴎昌行
招 待	便り	土嶋敏男
招 待	「藤原岳」	足立 徹
招 待	フリムク	中西 徹
招 待	風景の記憶	百合智子
招 待	デデむし	岡田久春

[賞]	[題 名]	[名 前]
審 査 員	湿原と樹	山本静香
審 査 員	プラントゥ	津田親重
審 査 員	早春	長谷川紀幸
審 査 員	Natural2023・6	三井昭典
審 査 員	Portrait	小林 央
審 査 員	マダム	月輪 清

(順不同)

● 審 査 評

入選作品について、全体的にグレードアップをしており、審査をされていて嬉しくなりました。

モチーフの選び方や視点、発想がユニークで、私たちも学ばせてもらった。それぞれが楽しみながら創作しているのが伝わってくる。今後も大きな画面や新しい技法などを取り入れ、どんどん挑戦してもらいたい。

【 彫刻・工芸 】



一席
＜市制20周年記念賞＞
あ！しまった……
濱口弘之



二席

鉄釉萩釉重ね掛け大鉢
中村秋夫



三席

むすめへ
内田昌子

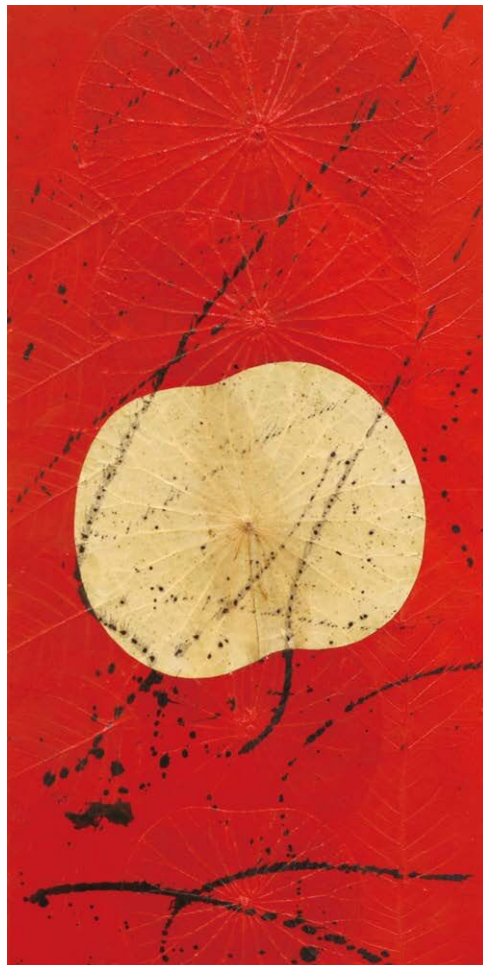


岡田文化財団賞

栗
達村威佐生

松阪の一夜賞

soul
井手千穂



【 彫 刻 ・ 工 芸 】

〔 賞 〕	〔 題 名 〕	〔 名 前 〕
一 席	あ！しまった……	濱口弘之
二 席	鉄釉萩釉重ね掛け大鉢	中村秋夫
三 席	むすめへ	内田昌子
岡田文化財団賞	栗	達村威佐生
松阪の一夜賞	soul	井手千穂
奨 励 賞	心のせせらぎ	伊藤訓子
奨 励 賞	闘牛	北山良平
奨 励 賞	阿吽	馬場弘美
入 選	忘れない！コーギースマイル	竹川まさよ
入 選	手付き藤籠	橋本尚美
入 選	うろこ雲	藤田りか子
入 選	光るキヌガサハニワ	久保俊雄
入 選	帯留	井上明子
入 選	藍 想いて	小泉 環
入 選	花器・尾花	伊藤千秋
入 選	無題	小川初子
入 選	オオタカ	宮田敏雄
入 選	倶会一処	中村明正
入 選	松坂城にて	田中高司
入 選	丸形花器	石川 勝
入 選	幸せを運ぶ木	西村尚代
入 選	パラダイス	今本明子
入 選	和・ランプシェード	尾上隆之
入 選	波文様花器「渦潮」	玉川勇次
入 選	広口壺	馬場弘幸
入 選	象嵌の塔	唐木和彦
入 選	北斎をモチーフ、浮し彫技法	北村 聡
入 選	燻竹と黒竹の行灯	達 弘子
入 選	想い	中西久雄
入 選	W&BtheWORLD	野呂正廣
入 選	むかしむかし	前田充代
入 選	しあわせ里山	竹本博志
招 待	小さな風景－空に続く	堀口昌宏
招 待	タモ玉杓拭き漆長手箱	前田祐英
招 待	のこされた か・た・ち	高橋光彦
審 査 員	運ぶ者	平松嵩児
審 査 員	三本の雫	鈴木律子
審 査 員	bird	志村高弘
審 査 員	結界	松本 尚
審 査 員	春の装	森谷尚子

(順不同)

● 審査評

松阪木綿との関わりから、染織作品は質も高く充実した出品となっているが、出品数は減少し、水準の低下が心配な状況となっているのが気にかかる。受賞作品も含めて、細部の造形にもっと神経を行き届かせてほしいと思う。今後も、力作、意欲作が数多く出品されることを、心から期待している。